

## Ⅶ 船卸港枝番の入力運用変更に伴う 「積荷目録状況照会（IMI）」業務の変更案

平成27年10月13日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



# 1. 積荷目録のシステム管理における航海番号の一意制約化

## 変更の背景

「積荷目録登録（MFR）」業務等で登録する積荷情報は「船舶コード+船会社コード+船卸港コード+船卸港枝番」を一意制約項目としている。そのため、近海航路の定期船においては、前航海の積荷情報と重複しないよう、船卸港枝番「1～9」を入力する仕様であるが、船卸港枝番の管理、関係者（船会社⇔CY）との共有が煩雑であり、実務において支障が出ている。

## 変更内容

積荷情報の一意制約項目に航海番号を追加することで、MFR等における船卸港枝番の入力を不要\*とする。

（\*）同一航海番号で複数回同一港に寄港する場合には、積荷情報が重複しないよう、従来通り、船卸港枝番を入力する必要がある。



第5次NACCSにおける入力例						第6次NACCSにおける入力例					
船舶コード	船会社	航海番号	船卸港	船卸港枝番	入港予定日	船舶コード	船会社	航海番号	船卸港	船卸港枝番	入港予定日
NACMARU	AAAA	A100	JPSHS	△	2015/10/01	NACMARU	AAAA	A100	JPSHS	△	2015/10/01
	BBBB	B200		△							
NACMARU	AAAA	A101	JPSHS	1	2015/10/03	NACMARU	AAAA	A101	JPSHS	△	2015/10/03
	CCCC	C200		1			△				
NACMARU	AAAA	A102	JPSHS	2	2015/10/05	NACMARU	AAAA	A102	JPSHS	△	2015/10/05
	BBBB	B201		2			△				

太字：一意制約項目

<現行>  
航海毎に船卸港枝番を変えて積荷情報を登録。  
枝番は船会社⇔CY間で決定し、共有する。

<次期>  
航海番号がシステム管理の単位となるため、  
船卸港枝番の入力が不要となる。  
船会社⇔CY間の枝番の共有等が不要となる。

## 2. 「船卸確認登録（PKI）」業務等の変更点

### 変更内容

入力項目に航海番号を追加する。

※航海番号は船会社毎に異なるため、PKK、PID、CMF11、CMF12、CMF13、MFA業務については、船会社コードもあわせて入力項目に追加する。

第5次NACCSにおける入力例						第6次NACCSにおける入力例					
船舶コード	船会社	航海番号	船卸港	船卸港枝番	入港予定日	船舶コード	船会社	航海番号	船卸港	船卸港枝番	入港予定日
NACMARU	AAAA	A100	JPSHS	△	2015/10/01	NACMARU	AAAA	A100	JPSHS	△	2015/10/01
	BBBB	B200		△							
NACMARU	AAAA	A101	JPSHS	1	2015/10/03	NACMARU	AAAA	A101	JPSHS	△	2015/10/03
	CCCC	C200		1							
NACMARU	AAAA	A102	JPSHS	2	2015/10/05	NACMARU	AAAA	A102	JPSHS	△	2015/10/05
	BBBB	B201		2							

PKI 船卸確認登録 (一括)

ファイル(E) 表示(V)

開始日時\* 2015/10/01 - 08:00

終了日時\* 2015/10/01 - 09:00

船舶\* NACMARU

船卸港\* JPSHS - 1

船卸場所 6NABC

パース

卸コン併せ表示\*  Y (Y: 卸コンテナリストの提出を併せて行う場合  
N: 卸コンテナリストの提出を併せて行わない場合)

時間外執務要請識別  (A: 時間外執務要請届出済  
B: 併せ時間外執務要請届)

### 第5次

船会社

1	AAAA	2	BBBB	3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	

PKI 船卸確認登録 (一括)

ファイル(E) 表示(V)

開始日時\* 2015/10/01 - 08:00

終了日時\* 2015/10/01 - 09:00

船舶\* NACMARU

船卸港\* JPSHS -

船卸場所 6NABC

パース

卸コン併せ表示\*  Y (Y: 卸コンテナリストの提出を併せて行う場合  
N: 卸コンテナリストの提出を併せて行わない場合)

時間外執務要請識別  (A: 時間外執務要請届出済  
B: 併せ時間外執務要請届)

### 第6次

船会社 航海番号

1	AAAA	A100	2	BBBB	B200	3		
5			6			7		
9			10			11		12
13			14			15		16
17			18			19		20

3航海のいずれも「船卸港枝番」が△であるため、いずれの航海であるか特定できない。

船会社毎に航海番号を入力することで、どの航海に対する登録であるかを特定可能とする。

### 3. I M I 業務の検討（変更における問題点）

#### 検討内容

I M I の仕様変更は自社システムへの影響が大きいが、M F R 等における登録単位が航海番号単位に変更となるため、仕様変更が必須となる。仮に、I M I の入出力仕様を全く変更しない場合に発生する問題点、矛盾点を以下に示す。

第5次NACCSにおける入力例						第6次NACCSにおける入力例					
船舶コード	船会社	航海番号	船卸港	船卸港枝番	入港予定日	船舶コード	船会社	航海番号	船卸港	船卸港枝番	入港予定日
NACMARU	AAAA	A100	JPSHS	△	2015/10/01	NACMARU	AAAA	A100	JPSHS	△	2015/10/01
	BBBB	B200		△							
NACMARU	AAAA	A101	JPSHS	1	2015/10/03	NACMARU	AAAA	A101	JPSHS	△	2015/10/03
	CCCC	C200		1				△			
NACMARU	AAAA	A102	JPSHS	2	2015/10/05	NACMARU	AAAA	A102	JPSHS	△	2015/10/05
	BBBB	B201		2				△			

IMI 積荷目録状況照会

ファイル(E) 表示(V)

照会区分\* A

船舶\* NACMARU

船卸港\* JPSHS -

船会社

C Y

B / L 番号

(照会区分)

- A: 概要照会
- B: B / L 一覧照会
- C: コンテナ一覧照会
- D: 積荷目録情報照会
- E: 未船卸コンテナ一覧照会
- F: B / L 照会
- G: B / L 主要項目一覧照会
- H: コンテナ主要項目一覧照会
- K: B / L 一覧 (仮陸揚) 照会
- T: B / L 一覧 (包括保税運送) 照会
- R: B / L 一覧 (事前通知) 照会

積荷目録状況照会情報 (概要照会)

ファイル(E) 表示(V)

照会区分 A 船舶 NACMARU - NACCS MARU

船卸港 JPSHS - 航海番号 A100 入港年月日 2015/10/01 状況表示 BMF

	船会社	提出済	登録者	提出者	B / L 件数	コンテナ本数	空コンテナ本数
1	AAAA	Y	6NAAA	6NAAA	10	200	0
2	AAAA		6NAAA	6NAAA	12	150	0
3	AAAA		6NAAA	6NAAA	10	200	0
4	BBBB	Y	6NBBB	6NBBB	5	100	0
5	BBBB		6NBBB	6NBBB	6	100	0
6	CCCC		6NCCC	6NCCC	8	150	0
7							
10							
20							

  

	C Y	船卸済	B / L 件数	コンテナ本数	空コンテナ本数
1	6NABC	Y	51	900	0
2					
3					
4					
5					

【問題・矛盾点②】  
複数航海分の積荷情報が検索されるにもかかわらず、航海番号、入港年月日等の航海毎に異なる項目が共通部に存在する。

【問題・矛盾点①】  
本船、港単位の検索となるため、複数航海分の積荷情報が出力されてしまう。また、航海番号が共通部にあるため、どの航海の情報であるかが判断できない。  
※第5次NACCSは船卸港枝番の入力により1航海情報が特定される。

【問題・矛盾点③】  
複数航海分の積荷の件数が出力されるため、出力される件数に意味を持たない。

### 3. I M I 業務の検討（概要照会 変更案①）

#### 概要照会の変更案①

入力：航海番号の入力項目を追加し、船会社コードとあわせて必須入力とする。  
出力（概要照会）：入力に応じた積荷情報を船会社+航海番号単位に出力する。

IMI 積荷目録状況照会

ファイル(E) 表示(V)

照会区分\* A

船舶\* NACMARU

航海番号\* A100

船会社 AAAA

船卸港\* JPSHS -

C Y

B/L 番号

(照会区分)

- A: 概要照会
- B: B/L一覧照会
- C: コンテナ一覧照会
- D: 積荷目録情報照会
- E: 未船卸コンテナ一覧照会
- F: B/L照会
- G: B/L照会項目一覧照会
- H: B/L照会項目一覧照会
- I: B/L照会項目一覧照会
- J: B/L照会項目一覧照会
- K: B/L照会項目一覧照会
- L: B/L照会項目一覧照会
- M: B/L照会項目一覧照会
- N: B/L照会項目一覧照会
- O: B/L照会項目一覧照会
- P: B/L照会項目一覧照会
- Q: B/L照会項目一覧照会
- R: B/L照会項目一覧照会
- S: B/L照会項目一覧照会

【変更点】  
航海番号の入力を追加。



積荷目録状況照会情報 (概要照会)

ファイル(E) 表示(V)

照会区分 A

船舶 NACMARU - NACCS MARU

航海番号 A100

船会社 AAAA

船卸港 JPSHS -

入港年月日 20151001 状況表示 END 積荷登録者 GNAAA 積荷提出者 GNAAA

B/L 件数 10 コンテナ本数 200 空コンテナ本数 0

C Y	船卸済	B/L 件数	コンテナ本数	空コンテナ本数
1	GNABC Y	3	60	0
2	GNDEF T	7	140	0
3				
4				
5				

【変更点】  
船会社+航海番号単位の照会となるため、船会社の繰り返し20欄を廃止。  
【留意点】  
共同運航の場合は、イメージのように複数回の送信が必要となる。

IMI 積荷目録状況照会

ファイル(E) 表示(V)

照会区分\* A

船舶\* NACMARU

航海番号\* B200

船会社 BBBB

船卸港\* JPSHS -

C Y

B/L 番号

(照会区分)

- A: 概要照会
- B: B/L一覧照会
- C: コンテナ一覧照会
- D: 積荷目録情報照会
- E: 未船卸コンテナ一覧照会
- F: B/L照会
- G: B/L照会項目一覧照会
- H: B/L照会項目一覧照会
- I: B/L照会項目一覧照会
- J: B/L照会項目一覧照会
- K: B/L照会項目一覧照会
- L: B/L照会項目一覧照会
- M: B/L照会項目一覧照会
- N: B/L照会項目一覧照会
- O: B/L照会項目一覧照会
- P: B/L照会項目一覧照会
- Q: B/L照会項目一覧照会
- R: B/L照会項目一覧照会
- S: B/L照会項目一覧照会

【留意点】  
共同運航の場合は、船会社および航海番号の入力を変更し、別途送信する必要がある。



積荷目録状況照会情報 (概要照会)

ファイル(E) 表示(V)

照会区分 A

船舶 NACMARU - NACCS MARU

航海番号 B200

船会社 BBB

船卸港 JPSHS -

入港年月日 20151001 状況表示 END 積荷登録者 GNBBB 積荷提出者 GNBBB

B/L 件数 5 コンテナ本数 100 空コンテナ本数 0

C Y	船卸済	B/L 件数	コンテナ本数	空コンテナ本数
1	GNABC Y	3	60	0
2	GNDEF T	2	40	0
3				
4				
5				

### 3. I M I 業務の検討（概要照会 変更案②）

#### 概要照会の変更案②

入力 : 航海番号の入力項目を追加し、船会社コードとあわせて20欄とする。  
 出力（概要照会） : 変更なし（入力に応じた積荷情報を1航海単位で出力する）。

積荷目録状況照会

ファイル(E) 表示(V)

照会区分\* A

船舶\* NACMARU

船卸港\* JPSHS -

C Y

B/L番号

船会社	航海番号	船会社	航海番号	船会社	航海番号	船会社	航海番号
01 AAAA	A100	02 BBBB	B200	03		04	
05		06		07		08	
09		10		11		12	
13		14		15		16	
17		18		19		20	

(照会区分)  
 A: 概要照会  
 B: B/L一覧照会  
 C: コンテナ一覧照会  
 D: 積荷目録情報照会  
 E: 未船卸コンテナ一覧照会  
 F: B/L照会  
 G: B/L主要項目一覧照会  
 H: コンテナ主要項目一覧照会  
 K: B/L一覧照会(危険積)照会  
 T: B/L一覧照会(荷役積)照会  
 R: B/L一覧照会(事前通知)照会  
 S: B/L番号一覧(出港前報告不一致)照会

【変更点】  
 ・航海番号の入力を20欄追加。  
 ・船会社の入力を20欄に変更。  
 ※1欄以上必須入力とする。



積荷目録状況照会情報（概要照会）

ファイル(E) 表示(V)

照会区分 A 船舶 NACMARU - NACCS MARU

船卸港 JPSHS - 航海番号 A100 入港年月日 2015/10/01 状況表示 END

	船会社	提出済	登録者	提出者	B/L件数	コンテナ本数	空コンテナ本数
1	AAAA	Y	6NAAA	6NAAA	10	200	0
2	BBBB	Y	6NBBB	6NBBB	5	100	0
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

C Y 船卸済 B/L件数 コンテナ本数 空コンテナ本数

1	6NABC	Y	6	120	0
2	6NDEF	Y	9	180	0
3					
4					
5					

航海番号の出力は、現行と同様で先頭に出力した船会社にかかる航海番号を出力する。

【変更点】なし。

# 3. I M I 業務の検討（一覧照会 変更案）

## 一覧照会の変更

入力 : 航海番号の入力項目を追加し、船会社コードとあわせて必須入力とする。  
 出力（一覧照会） : 変更なし。

入力された以下の単位でB/L番号を出力する。50B/L毎に継続照会。  
 ・船舶  
 ・航海番号  
 ・船会社  
 ・船卸港+枝番

【変更点】  
航海番号の入力を追加。



【変更点】  
 ・出力項目の変更はない。  
 ・第5次NACCSでは、船会社の指定がない場合で共同運航の場合は、共通部の船会社コードを切り替えながら継続照会となる。第6次NACCSでは、船会社の入力を必須とするため、船会社を切り替えながらの継続照会はない（案②の入力となる場合は、ある）。

最大50欄出力

- A : 概要照会
- B : B/L番号一覧照会
- C : コンテナ番号一覧照会
- D : 積荷目録情報照会
- E : 未船卸コンテナ一覧照会
- F : B/L照会
- G : B/L主要項目一覧照会
- H : コンテナ主要項目一覧照会
- K : B/L番号一覧（仮陸揚）照会 ←船会社コードの入力必須
- T : B/L番号一覧（包括保税運送）照会 ←船会社コードの入力必須
- R : B/L番号一覧（事前通知）照会 ←船会社コードの入力必須